

琉球与那国方言のアクセント資料 (1)

上野, 善道

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言 / 琉球の方言

(巻 / Volume)

34

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

30

(発行年 / Year)

2010-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012516>

琉球与那国方言のアクセント資料(1)

上 野 善 道

はじめに

これから数回に分けて、沖縄県八重山郡与那国町祖納^{ソナイ}方言のアクセント資料を提示して行く。

与那国島方言の先行研究はいくつかあり、特にそのアクセントが3型体系であることはすでによく知られるが、私が調べたところ、3型に納まらない型があること、および、3つの型に関しても、先行研究の報告との間に音調変化が起こり、文節末が軽音節か重音節かで音調が異なるという、非常に興味深い体系になっていることが明らかになりつつある。後者の問題については別稿を準備しているのでそちらに譲り、本誌においては前者の問題を含むアクセント資料に重点を置いた報告を行なって行く。

話者は、与那国の方言辞典の著書もあり、与那国民俗資料館も経営している

池間 苗さん（大正8年＝1919年生まれ）

である（他にも数人アクセント調査をしているが、本稿の資料は池間さんに聞いたものである）。

1回目の今回は、平山輝男・中本正智（1964）『琉球与那国方言の研究』（東京堂）の「第5編 語彙」に出ている全項目を対象とする。他に、基礎的なアクセント調査語彙（名詞、動詞、形容詞）、および用言の活用形のアクセントも一通り調査を終えているが、発表の順番は単に入力が済んだものを先にしたという以上の意味はない。

平山・中本の語彙リストは、ローマ字で音韻表記されたもののアイウエオ順になっている。以下に最初の3項目のみを示す（なお、意味のないフォントの違いは無視した）。

_ 'a [a]（名）栗

_ 'aigu'N [aiguN]（動）歩く

_ 'a'u'N [auN]（名）青

項目の順番はそのままに「共通語訳」だけを抜き出してそのまま「見出し」とし（ごく一部のみ微修正）、その後に私の調査結果を暫定的音韻表記（後述）に従って書き記し、そのアクセントを記した。（OK）は確認済みの意。音声表記は省略した。追加情報は Cf. の後に示した。

粟 'a:_ B

歩く 'aiguN_ B

青 miduru] C, mi[diru]iru C+B? ●(OK)(緑色、草色) <平中> 'auN_ B [これは使わないようだ]

私の調査結果が平山・中本と異なる場合のみ、その後に<平中>として原文の音韻形をあげ、かつそれがアクセントの認定の点で異なっている場合は■を付けて目立つようにした。そのアクセントの記載が一部漏れている(省略?) ことで不明の場合は○とした。

なお、<平中>として示す際は、原文の表記を本稿の私の表記に統一した。一番大きな違いは、上に引用したように、平山・中本が服部四郎の首里方言の解釈に従ってすべての母音と撥音の前に//を付し、その結果「重音節」の存在を否定しているのに対して、これは誤りであると考えて音節の頭に立つもの以外は削除した点である。また、平山・中本の記述に対して私の調査で得られた補足情報は[]に入れて示した(ごく一部のみ、平山・中本の記述以外にも使ったところがある)。平山・中本の音声記述を引用したところも[]のまま示したが、//と並べてあることによって判別ができるはずである。品詞情報は、特に必要だと考えたところ以外は省略した。見出しから予想がつくはずである。

本稿の表記は**暫定的音韻表記**で、琉球諸方言の報告をした一連の拙稿と基本には同じであるが、一部を「より音声学的なもの」から「より音韻論的なもの」に代えた。すなわち、多くの方言をまとめて扱う場合はある程度音声情報を残す表記の方が望ましいが、1つの方言だけを扱う場合はその必要が薄れるので、両唇音のFuをhuとし、スィのsiなどと区別するためにシなどの口蓋化音はsjjなどとしていたのを統一的にsiなどとした。また、'は、他方言では声門閉鎖音に当てていたが、本稿では母音及び撥音の前の音節初頭子音とし、その前に音節の切れ目があることを示す機能をもたせた。Nは撥音。音節末のNと異なり、形態素頭のNは音節をなす。その他、P, T, C, Kの大文字は無気喉頭緊張化音を表わす。Cはチ・ツの子音。

「暫定的」としたのは、促音と一部の撥音についてまだきちんとした観察と考察を行なっておらず、記録したままを、しかも、入力の手間を省くために上付き小字は通常の形で入力しておいたためである(促音相当は小文字の t や k などのままとし、あえて音韻表記のQにはしなかった)。この点は近い将来、改定する可能性がある。また、長母音は母音を重ねるのではなく、:で示した。この点も一部不安定・不確定な面がある。ただ、いずれにしてもこの方言は「音節」が重要な役割りを担うことは間違いない。また、この方言には昇り二重母音がある。

語形に関する関連情報は、<n> が「新」、<o> が「古」、<m> が「稀」である。意味に関しては、時間の関係もあって詳しくは聞いておらず、平山・中本と大きく食い違う点を

聞いたにとどまる。

アクセント表示は、3型に収まる型については、**A、B、C**で示した。詳細は別稿に譲るが、A型は下降なしの型で、文節末音節が高く終わり、続く助詞や文節を低くすることはない。B型は、音声的にさまざまな実現の仕方をするが、極めて概略的に言えば低平調である。C型は、文節末が「軽音節」の場合はそれだけではA型と区別がないが、文節末が「重音節」だとその音節の中で下降調を取ってA型と区別される。また、文節末の音節構造に関わりなく、続く文節を低くしようとする特徴をもつので、別の文節を続けるとA型と区別される。すなわち、C型は文節末に下降をもつ型である。

これらを、記号では、**A型を＝、B型を__、C型を]**として、各語形の後に記した。ただし、1単位形か2単位以上の形かはまだよく検討しておらず、その可能性をB[B+B?]'のように[]に入れて示した。2文節以上からなる短文例は、それぞれの文節にA B Cを付けると読みにくい感じがしたので、＝、__、]はそれぞれに付したが、アルファベットはA+Bのようにその後にくくまとめて記した。これは1単語がアクセント的に2単位以上に分かれる場合とは別であるが、例からどちらであるかは自明であろうと考えた。

与那国方言アクセントの最大の問題は、この3つの型に収まらないものが観察される点である。これらについては、簡略音調表記を記した。[は上昇、]は下降、!は半下降である。その位置づけは今後の課題であるが、中は大きく2つのタイプに分けられる。1つは、**一定のイントネーションが被さっていると見られるもので、強調して発音されやすい意味をもつ単語に観察される。**それらには▲を付した。その一種の強調形と通常形が併存している場合もあるが、強調形しか出ない項目もある。

その一方、**イントネーションとは無関係に3型以外の型をもつと見られるものがあり、それらには●を付しておいた。**複合語に多いが、与那国方言のアクセント体系を考える上でもっとも重要なものである。これらについては、再度確認調査を行ない、2単位形の可能性も含めてあらためてその位置づけを考えたい。

【付記】長時間に渡ってご協力くださっている話者の池間苗さんに心からの御礼を申し上げます。そのご協力なしには、本稿およびその後続く予定の発表物は到底考えられないものである。なお本稿は、2009年度科学研究費基盤研究（B）によって行なった調査の成果の一部である。

アクセント資料

栗 'a:_ B

歩く 'aiguN_ B

青 miduru] C, mi[diru]'iru C+B? ●(OK)(緑色、草色) <平中> 'auN_ B [これは使わない
ようだ]

赤ん坊 'NKuTi= A, <n>'agaNŋa= A, 'iŋaNŋaTi_ B <平中> 'agaŋa= A

子供 'agami] C, 'agamiTi_ B (OK) <平中> 'agami] C

早朝 'agaTubugi= A

トンボ 'agidaN] C

開ける 'agiruN= A

あくび 'agui= A, 'aNŋui= A <平中> 'agui= A

東 'aNŋai= A, 'aNŋabaTa= (東側) <平中> 'aŋai= A

東風 'aNŋaikadi= A (OK) <平中> 'aŋai= kadi= A+A? [1語と見ているかどうか不明]

上がる 'a(N)ŋaruN= A <平中> 'aŋaruN= A

祖父 'asa] C

明後日 'asaTi] C

浅い 'asaN= A, 'asaru= basu] A+C (浅いとき)、'a[sa:'aTidu buru= ▲+A (とても浅い)

汗 'asi_ B

首里王府統治時代の階級の名 x <平中> 'asju] C

明日 'atTa] C <平中> 'aTa] C

蛙 'aTabiTa_ B <平中> 'aTahiTa_ B [これは使わないと]

嫁 dumi= A, 'aTabuTa] C (聞) <平中> 'aTabuTa] C

較べる 'aTiruN= A (当てる意だが、文脈次第では較べる意もか) <平中> 'aTiruN= A

跡、後 'aTu] C, Cubara_ B <平中> 'aTu] C

後に 'aTuni] C, 'aTuni] kiruN= C+A (後にする) Cf. 'aTugara] C (後ろから)

婿 mugu] C <平中> 'aTuja_ B [これは使わないと]

痣 'ada= A

味 'adi= A

踵 'adubira_ B

暑い 'aCaN] C, 'atCaru] basu] C+C (暑いとき) <平中> 'aCaN_ B ■

厚い 'aCaN= A, 'atCaru= basu] A+C (厚いとき)、'aTiKura= A (分厚い) <平中> 'aCaN]
C ■

足駄 'aCida_ B 《下駄》 Cf. saba= A 《草履》

穴 'anaNPu_ B

私 'anu] C Cf. 'Nda= A 《you》

呼ぶ 'abiruN_ B

祖母 'abu] C Cf. 'umi'abu_ B (曾祖母)

母 'abuTa] C

叔母 'abuTaTi_ B <平中> 'abuTaTi= A ■

あぶない 'udubusaN= A, 'udubusaru= basu] A+C (あぶないとき) <平中> 'abunasaN= [これは共通語だと], 'udubusaN= A

きれい、美しい 'abjaN] C, 'abjaru] basu] C+C (きれいなとき)

さとうきび (甘藷) 'amada= A

窓 'amadu= A

甘い 'amaN= A, 'amaru= basu] A+C (甘いとき)

雨 'ami_ B

道 'amiTi_ B <平中> 'amiTi= A ■

虹 'aminumja_ B ('amiは「雨」だが、他は不明とのこと) <平中> 'aminumja:_ B

蟻 'aja] C

闘う 'ajuN_ B (牛と牛が)

新しい? <平中> 'araN_ B [これは使わないと]

新しい物 'aramunu= A, <m>mi:munu= A <平中> 'aramunu_ B ■

新調の着物、晴着 'ara'Nnani] C (ラとンの間で形態素のみならず、音節も切れる。)

洗う 'aruN= A

非常に、すごく 'a[ra:lgü ▲, 'aragu] dutTu= C+A (大変に立派) <平中> 'aragu= A ■

ある (連体) 'aru A? Cf. <m>'aru= basu] A+C (いつかある時)、'aru= basuni] A+C (ある時に) <平中> 'aru= A

ある人 <m>'aruTu] C Cf. kanuTu] C (あの人) <平中> 'aruTu:= A ■

網 'aN_ B Cf. 'i[juTui]aN_ C+B? ● (OK) (魚とり網)

有る 'aN] C

油 'aNda_ B

遊ぶ 'aNbuN= A

胃 'i:= A

父 'ija] C

いくつ 'iguCi= A Cf. 'iguCiN= A, ['i:lgüCiN ▲ (いくつも)

いくつか、いくつでも ['i:lgüCi 'arubaN] ▲+C (いくらあっても) <平中> 'iguCi= 'arubaN

A+○

いくら 'iguraTi= A (値段) Cf. 'iguraTiN= A, ['igulraTiN, ['i:lguraTiN ▲ (いくらでも)。

なお、'igutaTi_ B は水に棲む虫の名前。

急ぐ 'abaTiruN= A, su:nuNḡiruN= A Cf. su:nuNḡa] C (慌て者) <平中> 'isuḡuN_ B

板 'iTa_ B

息 'iTij] C

息をする 'iTij] kiruN= C+A <平中> 'iTij_ kiruN= B+A ■

従兄弟、従姉妹 'iTigu] C

動物 'i[Tij]munu C+B? ●, 'i[Tij]muCi ● (OK) <平中> /'iTimuCi_/'it[Tij]mutCi とある

一番、最も、非常に 'iTij] C, ['it iTiN ▲ <平中> 'iTijN= A ■

鱗 'iTū_ B <平中> 'iTū] C ■

絹 'iTū] C Cf. 'i[Tū]'Nnani C+C? ● (OK) (絹の着物)

五つ 'iCiCi_ B

石 'iCibugu= A <平中> 'iCibugu_ B ■

いつも ['itlCiN ▲, 'itlCiN! buN= C+A (いつもいる) <平中> 'iCiN= A

犬 'inu_ B

叔父 'ijaTi] C (OK) Cf. 'ija] C (父)

魚 'iju= A Cf. 'ijuTi] C (小魚)

鎌 'irara] C

貸す 'iramiruN= A Cf. 'iruN= A (借りる)

選ぶ 'irabuN_ B

西 'iri= A Cf. 'iribaTa= A (西側)、'iribara= A (西の方)

西風 'irikadi= A (OK)

入り用 (入要) 'iriju= A <平中> 'iriju:= A

色 'iru_ B

借りる 'iruN= A

為る 'iruN_ B, kiruN= A <平中> 'iruN_ B

要る 'iruN= A

重い 'iNsāN= A, 'iNsaru= basu] A+C (重いとき)、'iNsadu= 'aru] A+C (重いよ) <平中>

'iNsāN_ B ■

追いかける 'uikagiruN= A (OK) <平中> 'uigagiruN= A

動く 'uiguN_ B

老人 'uiTu_ B

老人たち 'uiTuNTa_ B <平中>'uiTuNTa:_ B

目上の人に対する肯定の応答 'u:] C

それ 'u:= A

桶 'ugi] C

塗る 'ugiruN_ B (色を?)、bikKiruN= A (壁を?) <平中> 'ugiruN_ B

起きる 'ugiruN_ B

拜む 'uNḡamuN_ B <平中> 'uḡamuN_ B

泳ぐ 'uNḡuN_ B <平中> 'uḡuN_ B

兎 'usaNgi_ B, 'usaNḡi_ も? (いない) <平中> /'usagi_/[usanḡi] Bとする。

歌 'uTa] C

歌をうたう 'uTa] kiruN= C+A <平中> 'uTa= kiruN= A+A ■

疑い 'uTaNḡai= A <平中> 'uTaḡai= A

振る 'u[Ti]maraN ● (OK) (横に大きく振り回す)、'u[Ti]mara basu] (振り回すとき)
huruN= A <平中> 'uTimaraN= A ■

手を振れ ti:_ 'u[Ti]marai B+?● ('uTimarai= A もか?) <平中> ti:_ 'uTimarai B+○

落ちる 'uTiruN_ B

弟、妹 'uTuTu_ B Cf. 反意語は suda] C (兄、姉)

兄弟、姉妹 'uTuda] C Cf. su[da]'uTuTu C+B? ● (OK)、'uTuda] buN= C+A (兄弟姉妹
がいる)

兄弟、姉妹 'uTudana_ B (OK)、'uTudaNTa] C (複数) <平中> 'uTudana_ B

落とす 'uTuN_ B

驚く 'uduruguN_ B

臼 'uCij] C

牛 'uCi= A

牛小屋 'uCinuda= A (OK) (牛の家) <平中> 'uCinuda:= A

その 'unu_ B Cf. 'unu_ munu_ B+B (その物)、'unu_ hana_ B+B (その花)、'unu_
'iCibugu= B+A (その石)、'uNnubasu] C (そのとき)、<平中> 'unu= A ■

その人 'unuTu] C (OK) <平中> 'unuTu:= A ■

覚える 'ubiruN_ B

大もの 'ubumunu_ B (大物) Cf. [hu:]TiNKinumunu ▲ (大きなもの)、'ubu'iju] C (大魚)

大刀 'ubukaTana_ B

大人 'ubuTu] C (OK) Cf. 'ubuTu]tagaTu] C+C (立派な大人。tagaTu] C は立派な人) <平
中> 'ubuTu:_ B ■

そこ 'uma] C <平中> 'uma= A ■

そこに 'umi] C, <m>'umani] C, 'umibagiN] C (そこにも) <平中> 'umani= A ■

そちらへ 'umaNKi] C <平中> 'umaNKi= A ■

思う 'umuN_ B

思い出す 'umu'iNdaN_ B

親 'uja_ B

上側 'ujabi= A

鼠 'ujaNTu] C

羨ましい 'uramisaN_ B, 'uramisaru_ basu] B+C (羨ましいとき)

下りる 'uriruN_ B

指 'ujubi] C <平中> 'ujubi_ B ■

売る 'uruN= A

追う 'uN= A

その人たち 'uNTaTi_ B, 'uNTaTiNTa_ B, 'unuTuNTa] C <平中> 'uNTaTi_ B

芋 'uNTi] C

皮、皮膚 ka:_ B

井戸 ka:= A

卵 kaiŋu] C

帰る kairuN_ B Cf. kaisi] hiruN_ C+B (帰しに行く)

秤で計る、掛ける kagiruN_ B

鏡 kaNŋaN_ B <平中> kaŋaN_ B

影 kaNŋi] C (蔭)、'uTuTu] C (人影)、kaTaga] C (木の陰) <平中> kaŋi] C

あご kagudi] C

書く kaguN_ B

掻く kaguN_ B

目の細かい櫛 kaTaguCi= A (シラミ用)

形 kaTaCi= A Cf. kaTa= A

刀 kaTana] C

肩 kaTaburuCi_ B

混ぜる maNdiruN_ B, kaTaN_ B (合わせる) <平中> kaTaN_ B

勝つ kaTuN_ B

臭い kada= A, kadai= A <平中> kada(i)= A

匂いがする kadakiruN= A Cf. kadaN= kiruN= A+A とも。

蚊 kadaNKu] C

風 kadi= A

暴風 'ubukadi_ B, kadiTi= A? (全体で名詞なのか、風+吹いた、なのか不明) <平中>

kadiTi= A

角 kadu_ B

うるさい kaCimasaN= A, kaCimasaru= basu] A+C (うるさいとき)

金 (かね) kaniN= A (金属)、diN_ B (お金)、<m>diNkaniN_ B (銭金) <平中>

kaniN= A

あの kanu_ B Cf. kanu_ munu_ B+B (あの物)。kanubasu (あのとき) は言わず、代わ

りに'uNnubasu] C と。<平中> kanu= A ■

あの人 kanuTu] C (OK) <平中> kanuTu:= A ■

変わる kabaruN= A

紙 kabi= A

水たまり kabusa] C (たんぼの) Cf. miNTana_ B (水たまり一般)

頬 kamaTi_ B

あそこ kama= A (OK)

あそこに kamani= A Cf. kami= A が普

あちらへ kamaNKi= A Cf. kamaNKi= baTari= A+A (OK) (あちらへ渡れ)

蒲鉾 kamabugu= A

海亀 kami_ B, damami] C (山亀、小さい)

神 kami_ B (正式、改まった感じ) Cf. kaN_ B (普)、kaNhuTugi_ B (神仏)

神を拝む kami_'uŋamuN_ B+B <平中> kami= 'uŋamu A+○ ■ [これは誤植に違いない]

鴨 kamu] C (いた—— [鳩と混同している可能性もあり])

噛む kamuN_ B Cf. 食べるは huN=A

髪 karaN] C <平中> karaN= A ■、kanaN= A [これは不使]

あれ kari= A (あの人の意) Cf. kariNTa= A (あの人たち)

枯れる kariruN= A

苺 karuN= A

考える kaNgairuN_ B (OK)

彼ら kaNTaTi_ B

蟹 kaNna] C

腕 kaNna_ B

木 ki_ B

木の実 kinu_ nai_ B+B <平中> /kiinunai/[kinunai]とある [アクセント表示なし]

毛 ki:= A

傷 kidi= A

煙 kibuNCi= A

為る kiruN= A Cf. 'iruN_ B とも.

声 kui] C

これ ku:= A Cf. 'uNkuN= A+A (あれこれ、あれもこれも)

釘 kudi= A <平中> kugi= A (老人は kudi= A ともいう)

九つ kugunuCi_ B

心 kuguru_ B

漕ぐ kuNquN_ B <平中> kuquN_ B

言葉 <n>kuTuba] C Cf. munui_ B, dunaNmunui= A (与那国方言)、munanuN_ B (無口)
<平中> kuTuba= A ■

牡牛 kuTja] C Cf. bigi'uCi] C (普)、kuTjaTi] C (OK) (小牛)

小皿 kudara_ B

鯨 kudiraj] C

腰 kuCi= A Cf. kuCibuni= A (共に、腰および背中 of 意)、kuCidami] C, kuCibunidami]
C (共に腰痛) <平中> kuCi= A

櫛 kuCi_ B

苦しい kuCisaN] C, kuCisaruj] basuj] C+C (苦しいとき) <平中> kuCisaN= A ■

この kunu_ B <平中> kunu= A ■

この人 kunuTu] C (OK) <平中> kunuTu:= A ■

蜘蛛 kubu] C <平中> kubu= A ■

蜘蛛の巣 ku[bunu]Ci C+B? ● (本当の巣?), ku[bunu] 'aN_ C+B, ku[buN]qasi (聞) C+B?
● <平中> kubunu_ 'aN] B+C ■

細かい kumaN] C, kumaruj] basuj] C+C (細かいとき) Cf. gumaN] C (小さい)、
gu[ma:]TaTi▲ (とても小さい) <平中> kumasaN] C [これは島では使わない] ■

ここ kuma] C (OK) <平中> kuma= A ■

ここに <m>kumani] C Cf. kumi] C (普) <平中> kumani= A ■

こちらへ kumaNKi] C <平中> kumaNKi= A ■

転ぶ kurubuN= A

車 kuruma= A

なぐる、殺す kuruN= A (人、蛇、虫などを。鶏を殺す、潰す意も) Cf. 'uTuN_ B (打つ)

来る kuN_ B Cf. 敬語は waruN_ B (行く、来る、いる、のすべての)

買う kuN= A

九十 kuNdu] C (OK) Cf. kuN[du! ku= C+A? (九十九) ● <平中> kuNdu:] C ●

怒り kuNdu_ B

怒る kuNdu_ 'NdiruN_ B+B Cf. kuNduguri_ B (怒ること)、kuNdugura_ B (怒りん坊)

この人たち kuNTaTi_ B (目下) Cf. kuNTaTiNTa_ B (目下)、kunuTuNTa] C (目上) <平中> kuNTaTi= A ■

飼う、養う KanuN_ B

掴む KamuN_ B

深い Ka:N] C, [Ka:sa(N) ▲, [Ka:lsaru basu] ▲+C (うんと深いとき)、[Ka:lsadu 'aru] ▲+C (うんと深いよ)、<m>Ka:ru] basu] C+C (深いとき) <平中> /KaN_/ [Ka:N] B ■

雇われ人 KaiTu= A

棄てる KaTiruN_ B

聞こえる KariruN= A Cf. KaninuN= A (聞こえない)

曲げる maNqiruN= A, gaNmiruN= A <平中> KaNmiruN= A [これは使わない]

袋 Kuru_ B (OK) <平中> Ku:ru_ B

月 Kuju] C (月夜ではなく、月本体の意) Cf. Ku[juN]ḡanaCi C+? ● (お月様)、'ubuTaKuju_ B (満月)、kagiKuju] C (三日月) <平中> Kuju_ B (月夜) ■

脹れる KuriruN= A

作る KuruN_ B

聞く KuN= A

突く KuN_ B (牛が) Cf. hikKuN_ B (棒や槍で突くなど) <平中> KuN= A ■

吹く KuN_ B (タバコを吸うも)

埃 (ほこり) KuN_ B (粉も)

使う KuN= A

鴉 (からす) <o>garaCi]? C?, duaru] C (夜鳥) <平中> garaCi] C [古くこれを聞いたことはある。が、そもそも鳥はあまりいない]

頑丈 gaNdu_ B (OK) <平中> gaNdu:_ B

奴隷的にこき使われる人 gitCi_ B (聞) <平中> giCi] C ■

漬け物 <o?>gitCi] C Cf. Kimunu= A (普) <平中> giCi] C

二枚貝の一種 gira] C (OK) (シャコ貝で大きい) Cf. 'agaja] C (普)、'agajaTi_ B (OK) ('agaja] の小さいもの) <平中> gi:ra] C

杖 gusaN] C <平中> gusaN= A ■

小さい gumaN] C, gumaru] basu] C+C (小さいとき)

小牛 guma'uCi] C Cf. guma'uCiTi_ B (より小さい牛)、'uCiTi] C (小牛)、'ubu'uCi] C (大牛)、'agami'uCi_ B (子牛)、'agami'uCiTi_ B (より小さい子牛)

五十 guNdu] C

少ない sagaN] C, sagaru] basu] C+C (少ないとき)

酒 sagi= A (オは付けない)

裂ける sagiruN_ B

裂く saguN_ B

彼自身 saNṇadu= A <平中> saṇadu= A Cf. du[nu] du C+C (自分の体)

茶 sa_ B (オは付けない) Cf. sa:du] C (朝に仏に差し上げるお茶)、sa:du] kiruN= C+A (～を出す)

その人、彼 sa:= A (本人)

猿 saru] C (いない) <平中> sa:ru] C

喜ぶ sjanaN= A (むしろ嬉しい意. sjanana= A は「嬉しいか」と聞く言い方)、sjanaru= basu] A+C (嬉しいとき)

喜ぶ sjanakiruN= A (喜びする)

砂糖 saTa] C

尖、岬 saTi= A Cf. 'aNṇaisaTi= A (東崎)、'iri(N)saTi= A (西崎) (共に与那国島の地名)

ふんどし sanaN= A (男女とも。男は後ろから前に、女は前から後ろに下げる) Cf. maiTa] C (腰巻き)、maiTasanaN_ B (女用) <平中> sanaN_ B ■

茶碗 sabaN] C <平中> sabaN= A ■

醒める samaruN_ samaN_ B (酔いがさ) Cf. 過去形は samaN] C。目が覚めるは suruN= A、surisuN= A。

酔いが醒める bi:= samaN_ A+B <平中> bi:= samaN_ A+B

消す samaN_ B Cf. Ci_ samaN_ B+B (火を消す)、過去形は samasjaN] C

消した火 sa[masjaru] Ci: C+B <平中> samasjaru_ Ci_ B+B ■

ざらざら sarasara= A <平中> sarasarai_ B

ざらざらした sarasara= ki:= A+A (肌など) <平中> sarasarai_ ki_ B+B

蟬 saNsaN] C

三味線 saNTi= A

三十 saNdu] C Cf. 三郎 (人名) も saNdu] C <平中> saNdu:] C

計算 saNmiN] C Cf. saNmiN] kiruN= C+A (計算する)

臆病者? <平中> siKabumunu_ B

力 siKara= A

筑登之（首里王府じだいの階級の名称）？ <平中> siKuduN] C

搗く siKuN_ B（むしろ、かまぼこなどを臼でつぶす意。餅は搗かずに、石臼で碾いて蒸す）

<平中> siKuN] C ■

強いて si:Ti=? A? <平中> si:Ti= A

七十 siTidu] C（OK） <平中> siTidu:] C, nanadu:] C [後者は使わないと]

心配 sibaN= A Cf. sibaminuN] C[A+C?]（心配ない）。次項も参照。

心配する sibakiruN= A[A+A?] Cf. 喜ぶ

狭い sibaN] C, sibuN] basu] C+C（狭いとき）

千 <m>siN] C Cf. seN] C とも。

信ずる siNdiruN_ B

今日 su:] C

今日は（挨拶） su:] 'uNjamu_ C+B（目上に） <平中> su:] 'uNjamu: C+○

直ぐ？ Cf. [si:TaTa ▲, siTaTa] C, nai] C（今） <平中> sugu] C

正月 suNŋaTi] C Cf. suNŋaTi] kiranuN= C+A（正月しない＝喪中） <平中> suŋaTi] C

書物 suNŋuTi] C <平中> suŋuTi] C

強い susaN] C, susaru] basu] C+C（強いとき）

拭く susuruN= A <平中> susuruN_ B ■

咳 suTi] C

年上 suda] C Cf. sudaNŋanaCi_ B

育てる sudaTiruN_ B

年上たち sudaNTa] C <平中> sudaNTa:] C

丁度 sudu] C Cf. sudu] maCi= C+A（丁度良い）。むしろ感情を込めて [su:ldu ▲と使う。

<平中> sudu= A ■

四男 dunaN= A <平中> sunaTi] C [これは四男ではなく、弟から見た兄を呼ぶ言葉。妹から見た兄を呼ぶのは bjaTi] C。一方、姉の方はその区別がなく、'aTi] C。一方、長男は sakuCi] C、次男は dinaN= A、三男は saNnaN] C、五男は gunaN= A、長女は 'ubani] C、次女は naNŋani] C、三女以下は 'aTi] C.]

側、横 suba_ B

皿 suri] C <平中> suri_ B ■

寄り集まる、集合する suriruN_ B

誰 ta:= A Cf. taNŋa= buN= A+A（誰がゐる）、ta[ja A（誰か）

田 ta:_ B

早く tagu] C

互いに [ma:tagi ▲, tagaini=? A?, 'uTagaini=? A? <平中> tagaini= A, 'uTagaini= A

高い tagaN] C, tagaru] basu] C+C (高いとき)

丈 tagi_ B (山の高さも)

竹 tagi= A

滝 <m>tagi_? C? (滝自体が稀)

確かに [ma:mu(l)ni▲, si[Ka(t)!Tu ▲, <n>tasiKa= A <平中> tasiKa= A

助ける tasiKiruN_ B

建てる taTiruN_ B Cf. KuruN_ B (作る. 過去は KwaN_ B)

俵 tara_ B Cf. maidara_ B (米俵)、TuTara] C (1 俵)、TaTara= A (2 俵)、miTara= A (3 俵)、duTara= A (4 俵)、'iCiTara_ B (5 俵)

棚 tana= A

種 tani_ B

旅 tabi= A

タバコ tabugu] C

頼む tanumuN_ B <平中> tarumuN_ B [こう言う人もいる]

一杯 (たくさん) [taN!Tu ▲, [ma:siKu ▲ <平中> taNTu] C

一杯 (たくさん) の水 x <平中> taNTu]nu miN? ●

手 ti_ B

太陽 tidaN] C Cf. ti[daN]ḡanaCi C+? ● (お日様)

手のひら tinubaTa_ B Cf. tiNda] C <平中> tinubaTa_ B

薪 timunu= A <平中> timunu_ B ■

天 tiN= A (晴れている時などの天、空)

手のひら tiNda] C (打つのはこちら. Cf. tinubaTa_ B)

天井 tiNdu] C

蛇 tugara] C

研ぐ tuNḡuN_ B <平中> tuḡuN_ B

時 tuTi_ B (時間が過ぎたなどの) Cf. basu] C, 'uNnubasu] C (そのとき) <平中> tuTi_ B

十 tu:= A

十一 tu:TuCi] C (OK)

蒲葵の葉で編んだ戸 tubi_ B <平中> tubi= A ■

着く、届く tuduguN_ B <平中> tuduTuN_ B ■ [これは、届いた意で tuduTuN] C]、
KaruN_ B [不使]

年 tuCi_ B (歳も)

年上 tuCisuda] C Cf. sudaNḡanaCi_ B <平中> tuCisuda] C

大晦日 tuCinujuru_ B

恥ずかしさ TuhaNKa= A (OK)、TuhaNKa= minuN] A+C (恥ずかしくない)、
TuhaNKaN= A (恥ずかしい) <平中> tuhaNKa] C ■

恥ずかしがる TuhaNKa= kiruN= A+A <平中> tuhaNKa] kiruN= C+A ■

出逢う tubaruN= A <平中> tubairuN= A [これは使わないと]

飛ばす tubaN= A

飛ぶ tubuN= A

嘘 tubja= A Cf. tubja= kiruN= A+A (嘘する=嘘をつく)

嘘をつくこと tubjamunui= A, tubjamunu= A <平中> tubjamunui= A

泊まる tumaruN= A

止まる tumaruN= A

与える turaN_ B (「取らす」に対応)

迂る turiruN_ B (すべるのではなく、転ぶ、倒れる意) Cf. 'NguriruN_ B がすべる意.

取る turuN_ B

妻 tuN= A

出る tuNdiruN= A

舌 Ta:_ B

蓋 Ta:= A

二つ Ta:Ci= A

額 Tai= A

下方 Tara= A, Tarani= A (下に)、TaraNKi= A (下へ)、TarabagiN= A (下まで)

両方、二ヶ所 TaTuguru= A

間 Tanaga= A

教える TamiruN= A (知らせる意. 教えるは naraN_ B <習わす>)

近い Ta:N] C, Taru] basu] C+C (近いとき)、Ta[Ta:Ti ▲ (とっても近い)

月 (天体の) Ti:_ B (moon, month)、Kuju] C (moon)

お月様 TiNḡanaCi_ B, Ku[juN]ḡanaCi C+? ● <平中> Ti: ḡanaCi_ B

月 (暦の) Ti:_ B

今月 kunuTi_ B[B+B?] (OK) Cf. taTuNTi] C (来月) <平中> kunu] Ti:_ C+B ■

口 Tibuni] C (OK)、<m>Ti:= A <平中> Ti:= A, Ti:buni= A (普) ■

なまこ Tija] C (聞いたことがあるだけ)

一人 Tui] C

全然 [Tu:N = A, [Tu:lN ▲ (イントネーション付き) <平中> [Tu:N = A
一つ TuCi] C

朝 TumuTi] C <平中> TumuTi_ B ■

一度、往復 TumuruCi_ B (OK) Cf. TamuruCi= A (2回)、mimuruCi= A (3回)、
dumuruCi= A (4回)、'iCimuruCi_ B (5回)

帯 TuN= A

一桝田 TuNguta_ B (OK) (TuNguは1升の意で、人頭税に用いられた) <平中>
TuNguda:_ B

草 Ca:_ B

精げる CaNqiruN_ B (米を) <平中> CaqiruN_ B

切られる CariruN_ B Cf. CuN_ B (切る) <平中> CariruN_ B

腐る CariruN_ B

腐れている魚 Ca[ri]buru 'iju= ●+A, Cari'iju] C (腐れ魚) <平中> Cariburu_ 'iju C+○

虱 CaN] C Cf. Ca:N] C (臭い)、Caru] basu] C+C (臭いとき)

広い maisaN] C, [hu:lTiNKi ▲ <平中> Ca:N= A [不使]

広いところ? <平中> Caru= duguru A+○ [不使]

乳 Ci:_ B

巢 Ci:_ B

火 Ci:_ B

血 Ci:= A

日 (日にち) Ci:= A Cf. 'uNnuCi= A (その日)

干潮 Ci:su] C Cf. 'usu_ B (潮)、'NTisu] C (満潮)、Ci:= A (干た、引いた)、'NTi= A (満
ちた) <平中> Ci:su_ B ■

いつも [Ci:ldu ▲ (動作を伴い、むしろ「しょっちゅう」やる) Cf. 'iCiN] C (いつも (いる))
<平中> Ci:du= A

こする CitCuN_ B, CiruN_ B <平中> Ci:CuN= A ■, CiruN_ B

注ぐ CiNquN= A (酒を) <平中> CiquN= A

継ぐ CiNquN= A (あとを) <平中> CiquN= A

続ける CidiKiruN= A

肘 CidiNKa_ B <平中> CidiNKa] C ■

煤 CiCi= A

肉 CiCi_ B

砂 CinaN= A

すね (脛) Cini] C

こむら (腓) CiniKura_ B

窪んだところ Cibu= A

渋 <m>Cibu] ? B? (柿はない) Cf. poaN] C (渋い、酸っぱい)、poaru] basu] C+C (渋いとき、酸っぱいとき) <平中> Cjubu= A

壺 Cibu= A <平中> Cibu] C ■

島 Cima_ B

胸 CimuN̄uTi_ B <平中> CimūuTi_ B

済む CimuN_ B

顔 Cira_ B, 'umuTi_ B (面)

霧 Ciri= A

釣瓶 Ciri= A <平中> Ciri] C ■

汁 Ciru_ B

印 CiruCi= A

汁鍋 Cirunabi_ B

蔓 CiruN= A

釣る CiruN= A, PaN_ B, Pa: basu] B+C (釣るとき) <平中> CiruN= A

干る CiruN_ B Cf. miN= CiruN_ A+B (田の水がなくなる)

こする CiruN_ B, CiCuN_ B <平中> CiruN_ B

白で挽く CiruN_ B Cf. 'uCisi] C (白で)

小刀 siN̄uTi] C <平中> Cīu_ B

四十 CiNdu] C <平中> CiNdu:] C

後 Cui] C, Cubara_ B <平中> Cui] C

白い Cu[da]ri ●, Cu[da:ri ▲, Cu[da:ri buru= basu] ▲+A+B (とても白いとき) <平中> Cuda:ri= A

白物 Cu:munu_ B, Cu[da]rinumunu ●, Cu[da:rinumunu ▲ (まっ白な物) <平中> Cu:muN_ B

昼間 Cuma= A <平中> Cu:ma_ B ■

薬 Curi] C <平中> Cu:ri] C

吸う CuCuN= A (水分やオッパイを。ただし、オッパイはPuN=Aが普) Cf. KuN_ B (タバコを) <平中> CuCuN_ B ■

唾 Cuba'iNTi_ B

後方 Cubara_ B <平中> Cubara= A ■

昼食 Cumadugi_ B Cf. Cuma= A (昼間)

昼食の時分 Cumaduginu_ dibuN= B+A <平中> Cumaduginu_ dibuN B+○

知る CuN= A

切る CuN_ B

着る CuN= A

鯉の餌 (小魚) zjaKu] C <平中> zjaKu= A ■

家 da:_ B

戸 dadu_ B <平中> da:du= A ■

八つ da:ci= A

だます damaN= A <平中> da:maN= A

病気 dami_ B <平中> da:mi] C ■

柔らかい daraN= A, dararu= basu] A+C (柔らかいとき)、da[ra:TaTi ▲ (とても柔らかい)、da[ra:TaTi buru= basu] ▲+A+C (とても柔らかいとき) <平中> da:raN_ B ■

ひもじい da:saN] C, da:saru] basu] C+C (ひもじいとき)、da:sa] minuN] C+C (ひもじくない)。

大工 daigu] C

寡婦 dagusami= A

焼く daguN= A

權 daNqu_ B <平中> daqu_ B

野菜 <n>dasai] C (それぞれの名前を具体的に言うのが普通。'ubuni] C 大根、kiNdaguni= A 人参など。kiN-は黄色かと。)

熱 dagi= A

易しい daCaN] C, daCaru] basu] C+C (易しいとき)。やりやすい、値段が安いも。dai= daCaN] A+C (代が安い)

茶毘 dabi= A Cf. dabi= kiruN= A+A (茶毘する = 茶毘に付す) <平中> dabi_ B ■

被さる daNburaN_ B

しざま (為様) sijama] C <平中> dama= A

山 dama_ B

止める tumiruN= A, damiruN= A (やめる) も? <平中> damiruN= A

破らす daNdaN_ B

毘 <m>dama_? B? (猪などはいない)

病む damuN_ B

字 di:= A <平中> di:_ B ■

地 di:_ B (地の物など)

きたない dinaN] C, dinaru] basu] C+C (きたないとき) <平中> di:naN] C

かんざし diba] C <平中> di:ba:] C

落花生 dimami_ B (採れる) <平中> di:mami_ B

地中 dinaga_ B

銭 diN_ B

湯気 duaNnai] C (2音節語) <平中> du'anai_ B ■

結い、労使交換 dui= A Cf. dui= kiruN= A+A (結いをする)

夕食 dui] C

用意 dui] C, siKuN= A, siKuN kiruN= A+A (用意する)、<n>duNbi= A (準備) <平中> dui_ B ■ (ただし、確認調査ではdui自体が使わないとされた)

自分 du:] C, dusi] C (自分で) <平中> du:_ B ■

湯 <m>du:_ B Cf. duhuru_ B (風呂)

熱湯 'aCidu_ B (30度ぐらいでも言う。沸騰したのは baNKi= A. baNkiruN= A 沸騰するという動詞あり。) <平中> 'aCidu:_ B

粥 du:_ B

明々後日 duganaTi_ B (4日のちの意か。duga] C 4日。4日の日付けも4日目も) Cf. 'asatTi] C (あさって)、'atTa] C (あした)、su:] C (今日)、'Nnu= A (昨日)、buTuTi= A (一昨日)、'NnubuTuTi= A[A+A?] (昨日一昨日、2～3日前をまとめて言う表現)、'at[Ta]'asaTi C+C? (明日明後日) <平中> du:ga] C

上手(うまい) du:di_ B

四つ du:Ci= A

納税 duna] C (上納) <平中> du:na:] C

毒 duKu_ B

六十 duKudu] C <平中> duKudu:] C

床 duga= A (昔は竹で作った。廊下の意も) <平中> duga_ B ■

一昨々日 duganaTi_ B <平中> duganaTi:] C ■ [これは一昨々日ではなく、明後日の次ではないかと。一昨々日は不明。ただし、混乱もあり。]

湯気 duNni_? B? <平中> dugi_ B

休む duguN_ B

道具 duNɲu] C <平中> duɲu] C

夕方 dusabi] C

枝 duda= A

雪 duTi=? A? (降らない。学校で習っただけ)

友人 duCi= A

夜中 dunaga_ B, dunaga_sanaga= B+A (深夜。sanaga は単独では使わない)

与那国島の名称 dunaN= A

嫁 dumi= A

読む dumuN_ B

計算する saNmiN] C Cf. saNmiN] kiruN= C+A (計算する) <平中> dumuN_ B [これは
言わないらしい]

百合 duju_ B (紐も同形) <平中> duju= A ■

百合の花 dujunuhana_ B[B+B?] <平中> dujunuhana= A ■

緩い duraNKai] C (帯、紐が)、duruNKai] buru= basu] C+A+C (緩いとき)

尾類 (遊女) saganaja_ B (そういう遊び場) <平中> duri_ B [これは沖縄の言葉だと]

泥 duru_ B (土の意)

夜 duru_ B

許す duruN_ B

寄る、集まる duruN= A Cf. 集まりは durai= A (寄り合い)

名前 na:= A

宛 x <平中> na: (接尾辞)

今 nai] C

仲 naga] C

長く na[ga:ɭgu ▲

泣く naguN= A

音 naNɲui= A <平中> naɲui= A

投げる naNɲiruN_ B <平中> naɲiruN_ B

夏 naCi= A

悲しい 'inamunu= A (残念、悲しい意) <平中> naCiKasaN_ B [これは使うが、親しい、
懐かしい意。naCiKasaru_ basu] B+C (懐かしいとき)]

七 nanaCi_ B

習う naruN_ B

牝牛 na:mja:] C <平中> na:mja] C

長い na:N] C, [na:lsa(N) ▲ (とても長い)、[na:lsaru basu] ▲+C (時間がとても長いとき)、
na:ru] basu] C+C (棒や紐が長いとき)

産む na:N_ B (人にも動物にも)

鍋 nabi] C

すべっこい nabiraN_ B (滑らか)、nabiraru_ basu] B+C (滑らかなとき) Cf. 'NguriruN_
B (滑る、滑りやすい) <平中> nabiraN_ B

嘗める nabiNdiruN_ B

生 nama] C

生のもの namamunu_ B (OK)

慣れる nariruN_ B

成る (結実する) naruN_ B Cf. nai_ B (実)

できる naruN_ B

桑 naN[Cilki: C+B? (桑の木。白などに使う良材) <平中> naNCi] B [これは、むしろ実の
方だと]

桑の実 naN[Cinu! nai_ C+B Cf. kinu_ nai_ B+B (木の実)、naNCi] kinu_ ha= C+B+A,
naN[Cinu! ha C+A (桑の葉)

波 naN_ B

根 ni_ B

肉 mi:= A, wa[nu! mi:= C+A (豚の肉)、'uCinu= mi:= A+A (牛の肉)、mit[Tanu! mi:= (鳥
の肉)C+A、'ijunu=mi= (魚の肉) A+A <平中> niKu_ B [新語]

こわい niguraN= A, niguraru= basu] A+C (こわいとき)

願う、祈る niNṅuN_ B <平中> niṅuN_ B

寢床 nida= A

北 niCi= A Cf. niNbaTa= A (遠い北方)、niNbara= A (近い北方)

北風 niCikadi= A Cf. haikadi_ B (南風)

右 nidi= A Cf. 'Ndai] C (左)

酌子 ni:bu] C (酒にも水にも)、sai] C (古か) <平中> nibu] C (これは、酒を汲む酌子を
いい、水を汲むものは nibu] といわずに sai] という。この頃では sai] はあまり用いなく
なった。[以上、原文の注記])

煮る niruN= A

二百 nihjagu] C

根 ni_ B (食べるもの)、nibari] C (木や草の根、根元) Cf. 'ubuni] C (大根)

根元 nimuTu] C

人間 Tu(:)= A (人。人と犬などの場合も) <平中> niNgiN] C [新語なら言うか?]

遅い niNsaN] C, niNsaru] basu] C+C (遅いとき)

二十 niNdu= A <平中> niNdu:= A

寝る niNduN= A

糸 nuimi] C <平中> nuimi] C, mumi] C [後者は不使]

何、どれ nu:] C Cf. nujā] C (何か?), nuNŋa] 'aŋga] C+C (何があるか)

ぬくい nuCaN] C, nuKuCaN] C; nuCaru] basu] C+C, nuKuCaru] basu] C+C (ぬくいとき)
<平中> nuKusaN] C

鋸 nugudi_ B

残る nuguruN_ B (たくさんある、不足なし) Cf. nuguN] C (残っている)、nuguN_ B (残す)

脱ぐ haNdiruN_ B (服、ズボン、帽子、靴、足袋などを) <平中> nuŋuN_ B [不使]

盗人 nusitTu_ B <平中> nusiTu_ B

涙 nuda_ B

喉 nudu] C

盗む nuCimuN_ B

治る nuruN_ B (OK) <平中> nu:ruN_ B

縫う nu:N_ B

布 nunu= A

首 nubi] C

飲む numuN_ B

乗る nuruN= A

蚤 nuN] C

葉 ha:= A

歯 ha:_ B

刃 ha:_ B

南 hai_ B Cf. haikadi_ B (南風)、haibaTa_ B (遠い南方)、haibara_ B (近い南方)

針 hai] C

食物 haimunu= A

這う haiCiruN_ B (赤ん坊が)

墓 haga= A <平中> haga_ B ■

測る hagaruN_ B

箱 hagu= A

吐く haguN_ B

禿げる haNjiruN_ B <平中> haŋiruN_ B
 剥ぐ haNjuN_ B
 鋏 hasaN] C
 畑 haTagi] C <平中> haTagi= A ■
 八十 haTidu] C <平中> haTidu:] C
 鳩、鳥の総称 haTu] C (鳩に限らず、庭にいる鳥などもさす)
 働く haTaraguN= A
 裸 hadaga] C
 入れ墨 hadiCi] C (あった) <平中> hadiCi= A ■
 始める hadimiruN= A
 雀 haduja] C
 橋、梯子 haCi= A
 蜂 hatTa] C Cf. 'NburuhatTa_ B (大蜂) <平中> haCi] C [これは使わないと]
 箸 haCi] C <平中> haCi_ B ■ [これはCの誤植か]
 花 hana_ B
 鼻 hanaburu= A
 羽 hani= A
 鰭 (ひれ)? <平中> hani= A [こう言ったかもしれないが不明と]
 翼 hani= A <平中> haniŋai= A [これは不明と]
 話 hanaCi_ B <平中> hanasi_ B [とも言うかと]
 蝶 habiru] C
 祖先 habudi] C (親より前の祖先) Cf. 'ujabudi] C (親の代の祖先)、'ujabudi]habudi] C+C
 ● (祖先)、'ujahabudi] C (親祖先) <平中> habudi= A ■
 早い、速い hajaN] C, hajaruj basu] C+C (はやいとき)
 入れる hajaN_ B (客を家に), 'iriruN= A (容れ物に) <平中> hajaN] C ■
 入る hajuN_ B
 晴れる hariruN_ B Cf. haruN_ C (晴れている)
 釜 haNgama= A (OK) <平中> haŋama= A
 半分 haNbu(N)] C <平中> haNbu] C
 足 haN] C Cf. nidihaN] C (右足)、'NdaihaN_ B (左足)
 屁 hi:_ B
 陰門 hi:= A
 性交する higiruN= A (一語) <平中> hi:= kiruN= A+A
 寒い hisaN] C, hisaru] basu] C+C (寒いとき) <平中> hi:saN] C

明るい hiKariNKaidu_ buru= B+A (ピカピカしている)、'agai= A <平中> hiKariNKai_
du buru B+○ (光っている、輝いている)

針などで突く hi(k)KuN_ B <平中> hiKuN_ B

灰 higuN= A <平中> higuN_ B ■

薄い hi(t)CaN] C (厚み、色、味は言わない)、hitCaru] basu] C+C (薄いとき) <平中>
hiCaN] C

山羊 hibida] C

へら? hira] C (土を掘る)

柱 hira] C

涼しい sidasaN] C, sidasaru] basu] C+C (涼しいとき); hiragisaN_ B, hiragisaru_ basu]
B+C (涼しいとき) <平中> hiragisaN_ B

冷たい hiragiNTai_ B, hiragiNTai_ buru= basu] B+A+C (冷たいとき)

朝食 hiri_ B

行く hiruN_ B

炭 TaN= A <平中> hiN] C [これは炭の残り滓で、燃える部分のないもの]

逃げる hiNgiruN_ B

貧乏者 hiNsumunu_ B

返答 hiNTu= A Cf. hiNTu= kiruN= A+A (返事する)

減る hiNnaruN= A

帆 hu:=A, 'N[ninu! hu: C+A (船の帆) Cf. mainuhu:= A (稲の穂。穂単独ではhu:_B)

外 huga_ B (そと) <平中> huga= A ■

ありがたさ hugarasa= A Cf. hugarasaN=A (ありがたい) <平中> hugarasa_ B ■

福木染め、黄色のこと huguNdumi_ B

臍 husu= A

庖丁 huTa] C

稲光 huTi_ B

仏 huTugi_ B Cf. huTugi_ waruN_ B+B (仏様がいらっしゃる) <平中> huTugi] C ■

星 huCi= A

骨 huni] C Cf. 'ijunuhuni_ B (魚の骨)

讃める humiruN_ B

冬 huju= A

古い hu[ru:!(CiCi ▲, hu[ru:!(CiCi buru= basu] ▲+A+C (古いとき)、huruCiCi= A,
huruCiCidu= buru= A+A (汚れている、古くて黒くなっている意)、hurumidu] buru=
C+A Cf. hurumunu_ B (古物) <平中> huruCiCi_ B ■

垢 huruCu_ B

便所 huruja] C

掘る huruN_ B

食べる huN= A

閉じる、戸を閉める huN= A

倍 bai] C

若者 bagamunu_ B

おかしい bagasaN] C (マンガが、やり方が)、bagasaru] basu] C+C (おかしいとき)

酒樽 sagikami] C, <m>sagitaru] C (OK) Cf. багаCi= A (小さな壺。ただし、酒を樽に入
れることは希)、TubagaCi_ B (1 升壺) <平中> багаCi_ B ■

若い багаN] C, bagaru] basu] C+C (若いとき)

沸かす багаN= A Cf. baNKiraN= A (沸騰させる)

分かつ、離す багаN_ B

腹 baTa_ B

綿 baTa_ B Cf. 'udunu] baTa_ C+B (蒲団の綿)

忘れる baCiruN= A

私たち banu] C (2～3 名) Cf. banuNTa] C (大勢) <平中> banu= A ■

悪い barasaN] C, barasaru] basu] C+C (悪いとき)

笑う baruN= A

割る baruN= A (薪を) Cf. baiCaN= A (瀬戸物などを割る)

くすぐったいさま baNgui= A Cf. baNguruN= A (くすぐる)

私たち baNTa] C (仲間で) Cf. baNTa] には体の脇の意もある。

酔う biruN_ B

男 biNga= A

男の子 biNga'agami_ B Cf. biNga'agamiTi_ B (小さい～) <平中> biNga'agami= A ■

指輪 biNgani_ B

雄鶏 bigimiTa_ B Cf. mi:miTa_ B (雌鶏)

紐、緒 bu:= A Cf. 'aCidanu_ bu:= B+A (下駄の緒), 棒はbu:] C.

麻糸で織物に用いる bu:_ B <平中> bu:= A ■

甥、姪 buiha= A (甥姪両方を差す)

皆 bu:ru= A, [bu:lru ▲ <平中> bu:ru= A

夫 buTu= A

一昨日 buTuTi= A <平中> buTuTi] C ■

踊り budi= A <平中> budui= A [という人も]

踊る budi= kiruN= A+A (踊りする) <平中> budui= kiruN= A+A

斧 bunu_ B

折る buiCaN_ B <平中> buruN_ [これは「折れる」意]

折ってくる bui_ kuN_ B+B

居る buN= A

ここに居る ku[mi! buN= C+A <平中> kumi= buN= A+A ■

鍬 PaNṅai= A <平中> Paṅai= A

ぺしゃんこにする PiraNkaN_ B <平中> PiraN=A ■

孫 maNṅu] C (OK) <平中> ma:ṅu] C

まだ madi] C (OK) <平中> ma:di] C

真昼間 [ma:]Cuma ▲、[ma:]Cu[ma= A▲、ma:Cuma= A Cf. Cuma= A (昼間) <平中>
ma:Cu:ma= A

もっと ma:biN] C

ほんとうのこと [ma:]mu()ni ▲、[ma:]mu[ni ▲ (ともに「本当に」の意で強調的に)

猫 maju] C (OK) <平中> maju] C

まわり miNṅui= A Cf. miNṅuruN= A (めぐる)、kuma] C (独楽) の回転にも。家の周
りは Tumaru] C <平中> ma:ru] C [これは使わない]、miNṅui= A

生まれる ma:ruN= A, mariruN= A <平中> ma:ruN= A

おいしい ma:N] C, ma:ru] basu] C+C (おいしいとき) Cf. ma:[ru]munu C+B? (おいしいもの)

稲 mai= A

前 mai] C Cf. maibara_ B (OK) (前の方)、Cuimai] C (前後、家の隣近所)、Cubara_ B (後
ろの方) <平中> mai] C

大きい、太い maisaN] C, maisaru] basu] C+C (大きいとき、太いとき) Cf. [hu:()TiNKi ▲、
hu:TiNKinu= basu] A+C <平中> maisaN] C

以前に maini] C (時間)

前方 maibara_ B Cf. Cubara_ B <平中> maibara= A ■

前方に maibarani_ B <平中> maibarani= A ■

誠 <m>maKuTu= A Cf. [ma:()mu()ni▲ (ともに「誠に、本当に」の意で)

梔 magari] C <平中> magari= A ■

負ける magiruN= A Cf. maguN= A (負けた)

蒔く maguN_ B

曲がる maNgaruN= A <平中> maŋaruN= A

塩 ma:su] C (OK) <平中> masu] C

また (接続) maTa] C (OK) <平中> maTa= A ■

燕 maTara] C

店 <o?>maTija] C (沖縄の言葉かもと), misija] C (普) <平中> maTija] C

待つ maTuN_ B

迷う maduruN_ B

松 ma[Cilki: C+B? ● (OK)、<m>ma[Cinulki C+B? ● (めでたいものとされる。ただし、島内に松はない。他島からのもの。正月は椎木と竹で) <平中> maCi] C

良いこと maCi= A Cf. maCi= minuN] A+C (良くない)

豆 mami_ B Cf. 'agamami= A (小豆<赤豆>), tu[bu]mami C+B? ● (OK) (豆腐豆<大豆>), tubu] C (豆腐)

眉 maju_ B Cf. minumaju_ B[B+B?] (眼の眉)。蚕も maju_ B

陰茎 mara_ B

短い maraN= A (紐、距離)、mararu= basu] A+C (短いとき)、ma[ru:TaTai ▲ (とても短い)

円い maruNKa] C (円も球も、名詞も) Cf. maruNKamunu_ B (丸いもの) <平中> maruNKa= A ■

睫毛 maNgi] C

眼 mi:_ B

三つ mi:ci= A

雌鶏 mi:miTa_ B

見つけた mikKjaN] C Cf. mikKiruN_ B (見つける) <平中> miKjaN= A ■ [なお、/miKjaN=/にmiKiruN= A と音声表示しているのは、過去形と現在形の (整理段階での) 混乱に違いない。]

盲 mikKwa·_ B, mikKwaN_ B (盲も) <平中> miKwa:_ B

めぐる miNḡuruN= A <平中> miḡuruN= A

醒める mi:_ suruN= B+A (醒めている?) <平中> misuruN_ B

鶏 miTa] C Cf. miTaTi] C (ひよこ)

池 miTu= A (むしろ、川。ku[bura]mit[Tu= C+A?, taburumitTu_ Bのように固有名詞的に使う) Cf. 'iCitarai_ B (石盥。家の前に置いてある石で、天水を溜め、洗濯などに使う)、'ubu'iCitarai_ B (大きな石盥) <平中> miTu= A, 'iCitarai= A ■

夫婦 tuNbuTu= A (「妻夫」の語構成) <平中> miTuda] C [これは他方言の形かと]

溝 'Ndu= A <平中> midu= A

庭 minaga= A

女 minuNɲa] C <平中> minuɲa] C

女の子 minuNɲa'agami_ B Cf. minuNɲa'agamiTi_ (小さい～) <平中> minuɲa] 'agami C+
○ ■

無い minuN] C

まぶしい mi:haNKasaN_ B, [mi:lhaNKasaN ▲, mi:haNKasaru_ basu] B+C (まぶしいとき)
<平中> mihaNKasaN= A ■

真似する mimi= kiruN= A+A, mimikiruN= A Cf. mimiki] dudi_ C+B (真似上手)、
Tunu= mimi= A+A (人のまね) <平中> mimikiruN= A

水 miN= A

耳 miNTahu_ B

聾 miNtura_ B Cf. miNKa:] C (悪口で) [沖縄からの新語]

頭 miNburu_ B Cf. miNburubuTa_ B (頭の大きい奴、悪口)

燃える muiruN= A

六つ mu:Ci= A

婿 mugu] C <平中>/mugu]/ muŋgu] C [この音声表記は誤記・誤植か?]

もし musikaN= A, [musikaN (強調的。もしかして) ▲

叱る muTaKuN_ B

持つ muTuN_ B

ひねる mudiruN_ B

虫 muCi= A (小さい虫) Cf. dagu] C (木についている虫)、dimimi] C (みみず)

難しい muCiKasaN= A, muCiKasaru= basu] A+C (難しいとき) <平中> muCiKaCaN= A

物 munu_ B

木綿 mumiN] C

腿 mumu_ B (なお「桃」は島にはない)

村 mura= A

丸いもの (球状のもの) maruNKa] C, muruNKa] C (ともに丸いこと。円も)

喧嘩 muNdu_ B (<問答か)

豚 wa:] C <平中> wa:_ B ■

天気 wasiKi= A Cf. wasiKi= nuruN_ A+B (天気が直る = 天気になる) <平中> wasiKi]
C ■

上天気になる wasiKi= naruN_ A+B (これだけでは上天気とは限らないと言う)

百足 'NKadi] C

2～3歳の幼児 'NKuTi] C (もっと下の赤ん坊もさす) Cf. 'iŋaŋaTi= A (赤ん坊のみ)

濡れる 'NgaruN= A

髯 'Ngi= A, <n>higi= A

辜丸 'Ngui= A Cf. 'NguiTi] C (OK) (子供の)

稲をこぐ 'NguruN_ B

土 'NTa_ B Cf. duru_ B (泥に対応するが、砂地以外の土の意)、'aga'NTa] C (赤土。これで髪を洗った)

満潮 'NTisu] C Cf. Ci:su= A (引き潮)

坐る 'NTuruN= A

君、あなた 'Nda= A Cf. 'Nda= buN= A+A (いる)、'Nda= waruN_ A+B (いらっしゃる)

稲をこぐ道具の一種 'Nda] C

左 'Ndai] C

かたつむり 'Ndami] C Cf. 'aga'Ndami_ B (赤蝸牛)、Cu:'Ndami_ B (白蝸牛)

かわいらしい 'NdaraN_ B, 'Ndararu_ basu] B+C (かわいらしいとき)

塩辛い 'NdaN] C, 'Ndaru] basu] C+C (塩辛いとき)

おまえたち 'Ndi= A (身近な存在の複数)、'NdiNTa= A (大勢)

どれ 'Ndi= A? Cf. 'Ndija= A? ● (どれか)、nuNŋa= (何が、どれが)

どの (連体) 'Ndinu] C Cf. 'Ndinu]Tu C+A?● (どの人)

おまえたち 'NdiNTa= A Cf. 'NdiNTa= buN= A+A (おまえたちいる)、'NdiNTa= waruN_ A+B (あなたがたがいらっしゃる)

言う 'NduN_ B <平中> 'NduN= A ■

綱 'Nna_ B (対応は「綱」だが、むしろ「縄」の意) <平中> 'Nna_ B

真ん中 'Nnaga= A

着物 'Nnani] C

空のもの 'N[na]mu()nu ●, 'N:[na]munu, ['N:na]munu ▲ (役に立たないもの、不要のもの)
<平中> 'Nnamunu= A

空の茶碗 <m>'N[na]sabaN ●, 'N[na]sabaN ▲ Cf. sabaN] C (茶碗) <平中> 'Nna= sabaN A+○

死なす 'NnaN= A

舟 'Nni] C

米 'Nni_ B

死ぬ 'NniruN= A

角 (つの) 'NnuN_ B

見る 'NnuN_ B

小便 'Nbai] C Cf. 'N[bai! kjaN C+A (小便をした)、du'Nbai] C (寝小便)、duNbaiTara_ B
(寝小便たらし=悪口)

尻 'Nbi= A (全体) Cf. 'Nbirumi_ B (穴) <平中> 'Nbi_ B ■

膝 'NbuCi= A Cf. 'NbuCidami] C (膝痛)

大きい蜂 'NburuhaTa_ B

馬 'Nma_ B

どこ 'Nma] C Cf. 'Nmi] C (どこに)、'NmaNKi] C (どこへ)

まな板 'NmanuTa_ B

縛る 'NmaNKiruN_ B

爪 'Nmi= A

履き物 'Nmimunu= A

雲 'Nmu_ B

編む 'NmuN_ B

昨日 'Nnu= A (OK) <平中> 'N:nu= A